

科目名	看護薬理学Ⅱ (循環器・血液・呼吸器・消化器系・泌尿器・生殖器系・物質代謝に作用する薬物)				DP4 DP5	看護高等課程	
学年	1年	分野	専門基礎 薬理	時間数	25時間	担当 教員	外部講師
科目概要	臨床看護の場において薬物治療に携わるためには、臨床薬理学の知識が必要である。各系統別作用薬についても知り、基礎的知識を深める。さらに、在宅療養を支える在宅療養管理指導での薬物管理の実際と多職種連携について考えられる内容とした。						
到達目標	1. 循環器・血液・呼吸器・消化器系・泌尿器・生殖器系・物質代謝に作用する薬物について理解することができる。 2. 在宅療養を支える在宅療養管理指導の実際から多職種連携について考えることができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～12	循環器・血液系に作用する薬物、血液製剤	循環器系に作用する薬物、血液系に作用する薬物、血液製剤				講義	外部講師
	呼吸器、消化器系に作用する薬物	呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物					
	泌尿器・生殖器系に作用する薬物	泌尿器系に作用する薬物、生殖器系に作用する薬物					
	物質代謝に作用する薬物	視床下部ホルモン・下垂体ホルモン、甲状腺ホルモン・副甲状腺ホルモン・骨粗鬆症治療薬、膵臓ホルモン・糖尿病治療薬、脂質異常症治療薬、痛風・高尿酸血症治療薬、ビタミン					
	外用薬、その他薬物	おもな皮膚科用薬、おもな眼科用薬					
	薬物中毒とその処置	薬物中毒とその処置					
	在宅療養者への薬物管理	在宅療養管理指導とは、(事例) 指導の実際と多職種連携					
13	試験	(1時間)				試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学2 栄養 薬理 医学書院 (副読本) Pocket Drugs 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							